

事業所名

cocorone第一単位（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

21 日

法人（事業所）理念		<p>すべての子どもの豊かな育ちと、親が安心して子育てできる環境づくりを支援します。 それと共に、障害児者とその親や家族がよりよい環境の中で子育てをし、地域生活を送ることができるような事業を行ないます。 私たちは、地域福祉の増進を図り、すべての人が隣り合っ安心して暮らせるまちづくりに寄与する事を目的に活動を行っていきます。</p>					
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・cocoroneでは、子どもたちはもとより、親御さん、職員同士のコミュニケーションを基盤に、子どもたち自身が自分を愛し、周りの人も大切にできる関わりや環境づくりを心がけています。 ・cocoroneでは、集団療育を行う中で、子どもたちが困っている背景や理由を見つめ、できない気持ちに寄り添うことで、みんなで一緒に考え、子ども自身が「できた！」の体験を積み重ねていける事を大切にしています。 					
営業時間		9 時	0 分から	13 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に通所することで、生活リズムを獲得できるよう支援しています。 ・個々の発達に合わせた支援を行い、基本的な生活動作（靴の着脱、荷物をしまう、手洗い、更衣動作、トイレなど）の獲得を図ります。 ・心身の健全な発達を目的に給食の提供を行っています。食べ物に対してこだわりや偏りがあるお子さんに対しては、形状、形態を考慮します。また、環境面においても給食の時間が楽しく安全な時間となるように、それぞれの子供に合わせて設定します。 ・個々の発達合わせた食具などの評価・提案を行います。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・発達のピラミッドの基礎となる感覚面（触覚・前庭覚・固有覚・視覚・聴覚）へのアプローチを重要視しています。 ・公園や散歩などの屋外での活動、サーキット遊びなどを行い、自己の体を思い通りにコントロールする力を養っていきます。 ・机上課題にて姿勢維持能力の向上、手指機能の向上を図ります。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりの認知特性や感覚過敏/鈍麻などを理解し安心して過ごせる環境調整を行います。 ・活動内でタイムタイマーや統一したおわりの合図を使用することで、時間やおわりの概念を育てていきます。 ・リズム遊びや体遊びのプログラムを通して、自己の身体への認識を向上させます。 ・粘土遊びや色遊びを通して、物が持つ性質や状態の概念を育てていき、言葉の語彙数を増やすことに繋げていきます。 ・気持ちが落ちつかない場合はクールダウンの場を提供し、自分で気持ちをコントロールする方法を一緒に見つけていきます。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・個々に合わせたコミュニケーション手段（絵カード、ジェスチャー等）を探り、自分の意思を伝えられるように支援していきます。 ・アイコンタクトやハイタッチなどコミュニケーションの経験を積み重ねていき、コミュニケーションをとることの楽しさを知る機会をたくさん提供します。 					

	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団での生活に適応できるように、小集団での活動にて大人や子どもと接する機会を増やし、その中で適切な接し方を身につけていきます。 ・ 視覚提示など行い、集団生活上でのルール（順番を待つ、人のものは相手に確認してから触るなど）を身につけていけるように支援します。 ・ 《自己受容》を高めることができるように支援していきます。 		
家族支援	<p>家族みんなが毎日健やかに過ごせるように育児不安に対するサポートを行います。発達状況や特性の理解、適切な支援方法、就学相談などについて相談援助を行います。</p>	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就園、就学に向けた環境を取り入れ、園生活や学校生活に必要なスキルの向上を目指します。 ・ 関係機関と密に連携をとり、園への移行がスムーズに行えるように支援を行います。 ・ 必要に応じて、園に訪問し、園での様子を踏まえた上での支援計画を作成します。また、事業所での様子と園での様子を擦り合わせ、より発達段階や支援が必要な部分を明確化します。 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当施設の認知度の向上を目指し、定期的に近隣へ活動報告を行います。 ・ 近隣への散歩や公園を利用することで地域とのつながりを作っていきます。 ・ 市役所、相談支援事業所、発達センター、園などと密に連携をとり、タイムラグがない情報共有を行います。 ・ 地域で行われる研修会へ参加し、事業所とも情報共有を行うことで、地域の特徴や課題を把握し、より住みやすい街になるように地域福祉の増進を図ります。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所研修にて知識・技術の向上を行っています。 ・ 定期的なミーティングを行い、支援内容/方法の検討を行なっています。 ・ 定期的な職員面談を行うことで、スキル向上をサポートしています。 ・ 外部の研修会や事例検討会に参加することで、多角面からの支援方法を習得しています。 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節を感じる手遊びや絵本、季節の物を題材にしたプログラムを実施しています。 ・ ランチクッキング・おやつづくり・・・自ら食事をつくる経験を通して食材に触れ、食べ物への興味関心を広げます。 ・ 防災訓練・・・地震、火事を想定して月に1回行っています。 			

事業所名

cocorone 第二単位 (児童発達支援)

支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

21 日

法人 (事業所) 理念		<p>すべての子どもの豊かな育ちと、親が安心して子育てできる環境づくりを支援します。 それと共に、障害児者とその親や家族がよりよい環境の中で子育てをし、地域生活を送ることができるような事業を行ないます。 私たちは、地域福祉の増進を図り、すべての人が隣り合って安心して暮らせるまちづくりに寄与する事を目的に活動を行っていきます。</p>					
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・cocoroneでは、子どもたちはもとより、親御さん、職員同士のコミュニケーションを基盤に、子どもたち自身が自分を愛し、周りの人も大切にできる関わりや環境づくりを心がけています。 ・cocoroneでは、集団療育を行う中で、子どもたちが困っている背景や理由を見つめ、できない気持ちに寄り添うことで、みんなで一緒に考え、子ども自身が「できた！」の体験を積み重ねていける事を大切にしています。 					
営業時間		15 時	30 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の発達に合わせた支援を行い、基本的な生活動作（靴の着脱、荷物をしまう、手洗い、更衣動作、トイレなど）の獲得を図ります。 ・「食べることが楽しい」という気持ちを養うことを目的に手作りおやつを提供を行っています。食べ物に対してこだわりや偏りがあるお子さんに対しては、形状、形態を考慮します。また、お友達と一緒に食べることで、食事の際のルールを身に付けたり、一緒に食べる楽しさを感じたりできるように、環境設定を行います。 ・個々の発達合わせた食具などの評価・提案を行います。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・発達のピラミッドの基礎となる感覚面（触覚・前庭覚・固有覚・視覚・聴覚）へのアプローチを重要視しています。 ・ボルダリングや押し入れ型遊具での活動、サーキット遊びなどを行い、自己の体を思い通りにコントロールする力を養っていきます。 ・机上課題にて姿勢維持能力の向上、手指機能の向上を図ります。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりの認知特性や感覚過敏/鈍麻などを理解し安心して過ごせる環境調整を行います。 ・活動内でタイムタイマーや統一したおわりの合図を使用することで、時間やおわりの概念を育てていきます。 ・リズム遊びや体遊びのプログラムを通して、自己の身体への認識を向上させます。 ・粘土遊びや色遊びを通して、物が持つ性質や状態の概念を育てていき、言葉の語彙数を増やすことに繋げていきます。 ・気持ちが落ちつかない場合はクールダウンの場を提供し、自分で気持ちをコントロールする方法を一緒に見つけていきます。 ・年長児には、就学に向けて文字や数字に親しむ活動を行います。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・お友達との関わりの中で、自分の意思を言葉で相手に伝えられるように支援していきます。 ・アイコンタクトやハイタッチなどコミュニケーションの経験を積み重ねていき、コミュニケーションをとることの楽しさを知る機会をたくさん提供します。 					

	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・集団での生活に適応できるように、小集団での活動にて大人や子どもと接する機会を増やし、その中で適切な接し方を身につけていきます。 ・視覚提示など行い、集団生活上でのルール（順番を待つ、人のものは相手に確認してから触るなど）を身につけていけるように支援します。 ・《自己受容》を高めることができるように支援していきます。 		
家族支援	<p>家族みんなが毎日健やかに過ごせるように育児不安に対するサポートを行います。発達状況や特性の理解、適切な支援方法、就学相談などについて相談援助を行います。</p>	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・就学に向けた環境を取り入れ、園生活や学校生活に必要なスキルの向上を目指します。 ・関係機関と密に連携をとり、学校への移行がスムーズに行えるように支援を行います。 ・必要に応じて、園に訪問し、園での様子を踏まえた上での支援計画を作成します。また、事業所での様子と園での様子を擦り合わせ、より発達段階や支援が必要な部分を明確化します。 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・当施設の認知度の向上を目指し、定期的に近隣へ活動報告を行います。 ・近隣への散歩や公園を利用することで地域とのつながりを作っていきます。 ・市役所、相談支援事業所、発達センター、園などと密に連携をとり、タイムラグがない情報共有を行います。 ・地域で行われる研修会へ参加し、事業所とも情報共有を行うことで、地域の特徴や課題を把握し、より住みやすい街になるように地域福祉の増進を図ります。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所研修にて知識・技術の向上を行っています。 ・定期的なミーティングを行い、支援内容/方法の検討を行なっています。 ・定期的な職員面談を行うことで、スキル向上をサポートしています。 ・外部の研修会や事例検討会に参加することで、多角面からの支援方法を習得しています。 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・季節を感じる手遊びや絵本、季節の物を題材にしたプログラムを実施しています。 ・おやつづくり・・・自らおやつをつくる経験を通して食材に触れ、食べ物への興味関心を広げます。 ・防災訓練・・・地震、火事を想定して月に1回行っています。 			